

3. 北海道の道路緑化指針（案）の改訂にあたって

■ 樹形管理方法に資する印象評価実験について

- ・基本構図は、樹形の大、中、小、強剪定の4種とした。
- ・樹種は6種とした。
- ・形容詞対は、13種とした。

樹種	樹冠幅		樹冠高		幹高		幹径	
	標準	最大	標準	最大	標準	最大	標準	最大
アサヒカサ	12.0m	7.0m	8.0m	8.0m	8.0m	14.0m	5.0m	4.0m
シラカシ	12.0m	7.0m	7.0m	8.0m	8.0m	14.0m	5.0m	4.0m
クヌギ	12.0m	8.0m	6.0m	10.0m	8.0m	14.0m	5.0m	4.0m
アカマツ	8.0m	7.0m	4.0m	—	—	—	—	—
ササナギ	8.0m	6.0m	6.0m	—	—	—	—	—
オオハシバコ	8.0m	6.0m	4.0m	8.0m	5.0m	10.0m	4.0m	3.0m

樹種・樹冠等の設定の一例

No.	形容詞対	好ましくない	好ましい	嫌い
1	緑性	薄	濃い	薄い
2	緑性	薄	濃い	薄い
3	緑性	薄	濃い	薄い
4	緑性	薄	濃い	薄い
5	緑性	薄	濃い	薄い
6	緑性	薄	濃い	薄い
7	緑性	薄	濃い	薄い
8	緑性	薄	濃い	薄い
9	緑性	薄	濃い	薄い
10	緑性	薄	濃い	薄い
11	緑性	薄	濃い	薄い
12	緑性	薄	濃い	薄い
13	緑性	薄	濃い	薄い

形容詞対の設定

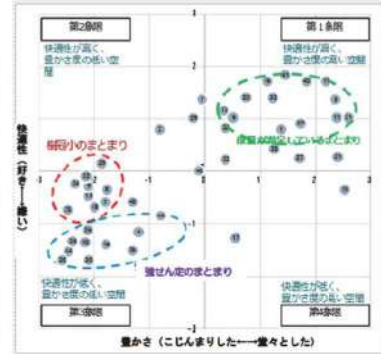


基本構図の一例

3. 北海道の道路緑化指針（案）の改訂にあたって

■ 樹形管理方法に資する印象評価実験について

- ・印象評価実験の結果から、強剪定のものや、弱剪定であっても樹冠が小さいもの等、緑量が小さいケースで評価が低くなる傾向がみられました。



印象評価の散布図

3. 北海道の道路緑化指針（案）の改訂にあたって

■ 樹形管理方法に資する印象評価実験について

- ・緑視率を用いて、緑量と印象評価の実験結果との関係性を確認。

※緑視率とは

直接視覚で認識できる樹木（幹・根等を含む）や草地、壁面緑化、芝生等の緑を対象として、人の視界における緑の割合。
→道路空間に対する緑の視覚的なボリュームの割合

$$\text{緑視率} = (\text{緑の面積}) \div (\text{撮影範囲})$$



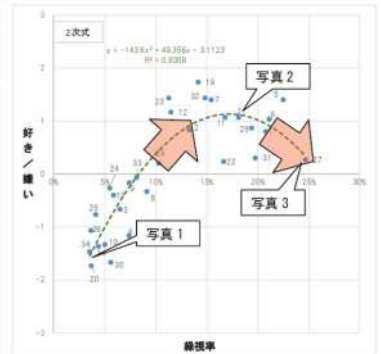
緑視率のイメージ

緑視率の測定例

3. 北海道の道路緑化指針（案）の改訂にあたって

■ 樹形管理方法に資する印象評価実験について

- ・緑量が多くなると印象の評価が上がる傾向がみられるが、緑視率のピークを境に、減少する傾向がみられた。



印象評価と緑視率の相関

3. 北海道の道路緑化指針（案）の改訂にあたって

■ 北海道の道路緑化指針（案）への反映

緑視率と印象評価実験の結果から、緑量が多すぎても評価が下がる傾向がみられ、中間値で最も良い評価となることが確認されたことを受け、北海道の道路緑化指針（案）へ反映した。



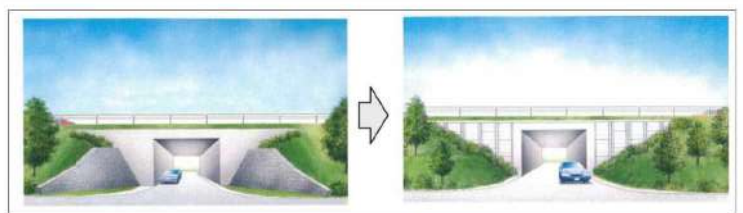
図3-5 撮影タイプにおける望ましい樹高・幹径

【注】 ①樹種 日本緑化センター研究 樹種選定ユニットによる選定より、望ましい樹高・幹径に該当する。樹種別の推奨値は、望ましい樹高・幹径の中間値を示す。

4. 北海道の道路緑化指針（案）の概要

■ 第2章 道路緑化の基本方針と緑化機能

個々の道路植栽は複数の機能を有するものであり、これらの機能が総合的に発揮されることによって、親しみのある道路環境が創出されます。これらの道路緑化の一般的機能について記載しています。



(d) 景観調和機能

5. 北海道の道路緑化に関する技術資料（案）の概要

■第4章 樹木の植栽

樹木の品質確認項目や適切な植栽時期、苗木の保管から植え付けまでの植栽方法等について、記載しています。

表 4-1 品質確認項目(樹形)⁷⁾

項目	要点	備考
樹形	各樹種の特徴に応じた自然樹形で、バランスがよいことと樹形が整っていること。	図 4-5 参照
幹 (高木に適用)	幹がほぼまっすぐで、単幹であること(ただし、株立物及び自然樹形で幹が斜上するものはこの限りではない)。	図 4-6 参照
枝葉の配分	配分が四方に均等であること。	図 4-6 参照
枝葉の密度	徒長的な成長 ¹⁾ をしておらず、節間が詰まって細枝が多く、着葉密度が良好であること。	図 4-7 参照
枝下	下枝が枯れ上らず、樹冠を形成する一番下の枝の高さが適正な位置にあること。	図 4-8 参照

5. 北海道の道路緑化に関する技術資料（案）の概要

■第5章 切土法面の植栽

切土法面の植生は、十分な厚さの生育基盤が確保できないため、中低木類を中心とした樹種選定を推奨しています。北海道の地域特性に応じた中低木の樹種選定や植生基盤造成手法等について、記載しています。

表 5-1 北海道の道路法面に適応する道内産緑化樹木(中低木)の生育特性一覧表

番号	種名		植物情報				生育特性				地域適応性	利用特性	樹木特性シート参照ページ			
	樹種名	科名	葉形	性状	最大樹高(m)	生育区分	生育特性	自殖性	道南	道央				道北	道東	
1	アキダマ	グミ	落葉	中木	4	4	道内	経路性	◎	○	○	△	○	○	○	PS-14
2	チシマザクラ	バラ	落葉	中木	5	5	道内	経路性	△	○	○	○	○	○	△	PS-15
3	ツリバナ	ニシキギ	落葉	中木	5	4	道内	好湿性	○	○	○	○	○	○	○	PS-16
4	ナツグミ	グミ	落葉	中木	5	4	道内	経路性	○	○	○	△	○	○	○	PS-17
5	マユミ	ニシキギ	落葉	中木	5	5	道内	経路性	○	○	○	○	○	○	○	PS-18
6	イボタノキ	モクセイ	落葉	低木	4	3	道内	好湿性	○	○	○	○	○	○	○	PS-19
7	エゾニワトコ	スイカズラ	落葉	低木	5	3	道内	経路性	○	○	○	○	○	○	○	PS-20
8	エゾヤマハギ	マメ	落葉	低木	2	2	道内	経路性	○	○	○	○	○	○	○	PS-21
9	カンボク	スイカズラ	落葉	低木	5	3	道内	好湿性	○	○	○	○	○	○	○	PS-22
10	クニウツギ	スイカズラ	落葉	低木	2	2	道内	好湿性	○	○	○	△	○	○	○	PS-23
11	ノリウツギ	ユキノシタ	落葉	低木	5	3	道内	好湿性	○	○	○	○	○	○	○	PS-24

5. 北海道の道路緑化に関する技術資料（案）の概要

■第6章 樹木の維持管理

剪定手法や病虫害防除、植栽時の樹木に対する支柱管理、冬囲い、土壌管理、施肥等について、記載しています。



6. おわりに

◆北海道のみならず、積雪寒冷地における街路樹の整備計画の検討や施工、維持管理を行う上で、本書を活用して頂ければと思います。

・本書のPDFファイルを以下で提供しています。
<http://scenic.ceri.go.jp/manual.htm>

・ご不明点等ありましたら、ご連絡下さい。

寒地土木研究所 地域景観ユニット
〒062-8602 札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34
Tel : 011-590-4044 e-Mail : scenic@ceri.go.jp